

檀原市立図書館だより

平成24年7月1日発行
第25号

檀の樹

目次:

檀原市子ども読書
活動推進計画

2 ~
~ 7

お知らせ ほか
8



策定4年を迎えました

橿原市子ども読書活動推進計画



市立図書館の紙芝居を活用した読書活動

学童クラブ・地域文庫—図書館による連携の一例です

本と触れ合うことによって、子どもは言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにします。

ひとりひとりの興味や関心を尊重しながら、押しつけるのではなく、子ども自身が本を選ぶことができるようにすることが大切ではないでしょうか。

子どもと本とのあいだを醸成するために、「橿原市子ども読書活動推進計画」の中で、様々な取組が図られています。

◇橿原市子ども読書活動推進計画の策定について

平成13年に「読書活動推進に関する法律」が制定され、平成14年8月に国の基本計画が閣議決定されました。また、平成15年には「奈良県基本計画」が策定されたことを受けて、県内の市町村においても計画策定が進められてきました。当市においても、「橿原市子ども読書活動推進計画策定委員会」を設置し、ワーキング部会での関係者による議論を受けて、平成20年2月に「橿原市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

◇橿原市子ども読書活動推進会議 取組の確認(検証)について

計画の策定を受けて、平成20年4月より具体的な取組が始まりました。5カ年という計画の全期間を通じて、取組の点検と評価をおこなうために、4部会から成る「橿原市子ども読書活動推進計画推進会議」が発足しました。24年度は計画期間として想定した5カ年目にあたるため、各部会の取組の確認と問題点の洗い出しをおこない、当計画における今後の方向性について審議をおこなう必要があります。

取組の概要

ブックスタートなど、乳幼児を対象とする読書活動の充実

平成20年度に、行政・民間団体・図書館の連携で始まったブックスタートも4カ年を終了し、約4000組以上の1歳6カ月児とその保護者に絵本の読み聞かせと読書活動の啓発を行ってきました。従来からの「おはなし会」や「おはなしの時間」、「子どもの育ちと本」に関わる講座など、関係者の連携による新しい取組も始まっています。

各団体、ボランティアなどの活動と図書館との連携

市民の皆さんにも読書活動を推進する担い手になっていただくことを願い、おはなしの会や地域文庫といった従来の読書関連団体に加えて、地区公民館や学童クラブ・PTAグループやボランティアの会などと図書館が様々な形での連携に取り組んでいます。情報や研修機会を共有しながら、連携の多様化を進めています。

学校、幼稚園、保育所(園)などでの様々な読書活動

教科学習や保育活動、学校図書館などでの様々な活動に加えて、昼休みや休憩期間を活用した校外関係者との連携による読み聞かせ、団体貸出や図書館見学、図書館への職場体験など様々な機会を捉えた教育的指導や取組が図られています。学校支援ボランティアの協力を得て、学校図書館の環境整備に取り組む学校も増えています。

(1) 榿原市子ども読書活動推進会議の構成（4部会）

24年度は、22年度におこなった「中間年のまとめ」を基礎にして、計画期間5カ年の「まとめ」をおこないます。各部会についても、議論の継続性を維持するために、基本的には22年度に実施した各委員と関係者に継続してご参加いただいています。

「家庭部会」 福祉総務課 子育て支援課 健康増進課 榿原文庫連絡会 榿原市図書館ボランティアの会 図書館

「地域部会」 社会交通課 中央公民館 榿原文庫連絡会 榿原おはなしの会 図書館

「学校部会」 教育総務課 学校教育課 校長会 学校図書館研究会 榿原文庫連絡会 榿原おはなしの会 図書館

「図書館部会」 榿原文庫連絡会 榿原おはなしの会 榿原市図書館ボランティアの会 図書館

(2) 各部会のワーキングについて

◆ 家庭部会の取組と課題

乳幼児期における家庭での読書活動にとって、ブックスタートの取組が重要です。健康増進課、子育て支援室、関係団体やボランティアなどと図書館が連携を図ることで、「子どもの育ちと本」について、これから子育てが始まる若い家庭を中心に知見の醸成に努めています。

協力者である関係団体やグループを、図書館ボランティアのブックスタート班として一括し、併せて公募などにより賛同者の拡充に努めます。事業スタートから4年が過ぎ、初期のメンバーにも入れ替えが生じており、知見や情報の共有や研修がこれからの課題です。

◆ 地域部会の取組と課題

地域に点在する地区公民館図書室や学童クラブ、地域文庫、児童センターなどを「子どもたちが本とであうための場所」と理解することで、様々な読書活動を実現させることが可能となります。

「場所」としての各拠点と、「担い手」の連携が必要です。ただし、地区や施設により事情や状況が異なるために、画一的な方策によっては達成が難しいことも明らかになってきました。地区の事情や状況に精通した地域内住民が「地の利」を活かし、子どもたちを本へといざなう協力者としてのメリットを発揮できるよう図書館の役割が望まれます。

◆ 学校部会の取組と課題

読書タイムや読み聞かせの実施、学校図書館の整備・充実、図書委員会の活動などの取組が進展しています。休み時間や放課後に図書館を開館する学校も増えてきています。

学校図書館の開館時間の確保や環境整備、図書リストの作成など、ボランティアや校外関係者との連携を図る取組の大切さも広く認識されてきています。子どもたちの身近なところに、手を伸ばせばすぐに本に触れることができるように、学級文庫の充実や学校図書館資料の運用法も大切な課題であることがわかってきました。

◆ 図書館部会の取組と課題

国庫補助金の充当により、長年の懸案だった館内資料の充実と更新に重点的に取り組むことができました。蔵書の形成を図りながら、併せてブックリストの作成などの読書活動の啓発や団体貸出、おはなし会やストーリーテラー養成講座などの開催にも継続して取り組みます。催しの大部分を担う榿原文庫連絡会や榿原おはなしの会、榿原市図書館ボランティアの会との連携の中で、若手担当者の幅広い成長がなされることにも期待されています。

(3)具体的な取組

◆学校教育・保育活動の中での取組や学校図書館の充実など

教科学習や保育活動、学校図書館での指導や活動、図書館や図書を活用した調べ学習などに加えて、校内放送や朝読の時間を活用した啓発・課題図書などの紹介、校長先生や教頭先生などのおススメ図書や図書だよりの発行などの取組がおこなわれています。図書委員、あるいは高学年児童から低学年児童への「おはなし」やシオリのプレゼントなどの取組もおこなわれています。

図書予算の配分を受け、各校の学校図書館の図書資料の充実も図られています。教職員だけでなく、児童・生徒や図書委員、保護者からも購入図書の希望を聞いて幅広い選書に努めている学校もあります。

また、休み時間や放課後に学校図書館を開館し、児童・生徒が利用する機会を増やしている学校も増えています。

各校の方針や状況を十分に理解しながら、校内での取組を側面からお手伝いするために、校外関係者やPTAグループ、おはなしの会などによる図書の修理や読み聞かせ、図書案内などの活動も始まっています。

子どもたちの身近に優良な図書を数多く配置するために、学校図書館図書標準向上の取組も継続しています。今後は、子どもたちにとって身近な学級文庫の充実についても、方策を図ることが求められます。

※学校図書館図書標準について

市立小学校16校 87.8%(23年3月末) 市立中学校6校 90.4%(23年3月末)

◆文庫、おはなしの会など、各団体などの取組や催し

従来からの図書貸出を主とする文庫活動、おはなしの配達に加えて、子どもたちの読書活動推進のための講演会やセミナーなどの催しを通じた啓発にも取り組んでいます。

分館を持たない本市にとって、各地域の読書活動の拠点として機能している地域文庫の役割は重要です。

併せて、市立幼稚園や市立小学校に「おはなしの配達」を実施しているおはなしの会などの活動も重要です。

図書館ボランティアの会が行っている榎原ナビプラザでの「おはなし会」など、各団体が実施するプログラムが増えています。



毎週土曜日の午後3時より、館内おはなし室で、図書館、榎原おはなしの会、図書館ボランティアが絵本の読み聞かせとストーリーテリングをおこなっています。23年度44日のべ617人、22年度、46日のべ619人、

毎月第2水曜日に図書館おはなし室で行っている「赤ちゃんとおはなし会」や、毎月第1、3、4、5水曜日の午前10時よりおこなっている「おはなしの時間」では、対面朗読や手遊びなども取り入れて、子育ての初期段階を迎えている皆さんへの啓発に努めています。

榎原おはなしの会の取組

「おはなしの配達」23年度 市立幼稚園 のべ44回 市立小学校 のべ20回

★参考資料「緑のたね NO. 26」

榎原文庫連絡会の取組

各地域文庫の開催時間内で、おはなし会、読み聞かせ、セミナーなどが適宜おこなわれています。

<http://www41.tok2.com/home/kashiharabunko/>

◆ブックスタート

平成20年4月より、毎月2日を充てて実施している1歳6か月健診と連動する形で、ブックスタート事業を実施しています。

健康増進課、子育て支援課、図書館ボランティアブックスタート班、図書館の連携により、23年度24日1012組、22年度24日1,040組、21年度24日1,067組。20年度、24日1,011組の親子連れに絵本を用いた読み聞かせを行うことと併せて、絵本の紹介や子どもの育ちと本の啓発、「おつきさまこんばんは」「がたんごとんがたんごとん」「ここよここよ」などの絵本をプレゼントしました。



◆団体貸出

市立小学校や文庫連絡会などと図書館が連携して、23年度18,957冊(小学校10621冊)、22年度19,762冊(小学校10376冊)21年度、20,381冊(うち小学校11760冊)、20年度20,654冊(うち小学校10,635冊)を貸出しました。

上記総数には、県立医科大学院内学級や学童クラブ、地区公民館やPTAグループへの貸出も含まれています。

23年度には「住民生活に光を注ぐ交付金」約700万円の充当を受けて団体専用閉架書庫の図書の新規調達と老朽図書の更新を実施しました。

また、23年度に試行的に実施した市立小学校への団体貸出用図書の輸送についても、引き続き取り組んでいきます。



◆職場体験・社会見学・インターン・シップの受入など

図書館見学	23年度 市立小学校3年生11校801人、22年度 市立小学校3年生11校903人 21年度 市立小学校3年生11校901人、20年度 市立小学校8校744人
図書館での職場体験	23年度 市立中学校4校14人 22年度 市立中学校6校22人 21年度 6校24人 20年度 6校24人。
インターン・シップその他	23年度 県立養護学校(県立養護学校2名/日)22年度 県立高等養護学校(1名/年) 21年度 県立養護学校(1名/年) 20年度 県立養護学校(1名/年)

◆様々なボランティア活動

学校支援ボランティアや図書館ボランティアによる活動が定着してきています。図書の修理や図書室の環境整備、図書の紹介や読み聞かせ、おはなし会といった活動が、学校図書館や市立図書館で行われています。



◆地区公民館や学童クラブなどでの活動

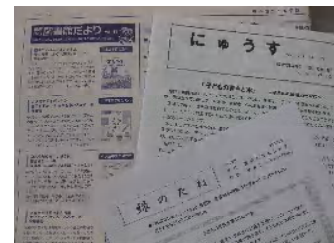
地区公民館図書室や地域子ども教室がおこなう催しと図書館が連携して、子どもたちの読書活動の拡充に取り組んでいます。学童クラブやPTAグループへの団体貸出にも取り組んでいます。



◆情報の共有と伝達の促進 読書活動を育む啓発など

奈良県立図書情報館、奈良県立教育研究所、読書関連団体、他自治体立の図書館が開催する講演会、セミナー、研修などの情報の共有と伝達に努めています。

学校新聞、読書だより、PTA広報紙、各種団体などが発行する紙面を通じて、子どもたちの読書活動を育む啓発などにも取り組みます。



◆図書館資料の充実

光を注ぐ交付金該当額約700万円の充当を受け、1F開架児童サービス用図書の新規調達と老朽更新を行いました。

(4) 計画策定から今日までの流れ

平成18年 12月20日	第1回橿原市子ども読書活動推進計画 策定検討委員会	計画策定のための準備会。基本事項や方向性について協議
平成19年 3月 2日	奈良県子ども読書活動推進計画担当者 会議	奈良県担当者より各市町村担当者への説明会
4月12日	第2回橿原市子ども読書活動推進計画 策定検討委員会	計画策定を具体化させるための2回目の準備会
6月27日	第1回橿原市子ども読書活動推進計画 策定委員会(教育長訓令甲第6号)	策定委員会の設置。策定作業に本格的に着手
10月26日	第2回橿原市子ども読書活動推進計画 策定委員会	計画素案の作成と検証
11月27日	計画案へのパブリックコメントの募集	
平成20年 2月14日	第3回橿原市子ども読書活動推進計画 策定委員会	パブリックコメントを反映させ、策定作業を終了
2月29日	橿原市定例教育委員会会議	策定内容を答申。審議を経て了承。
4月24日	橿原市ブックスタート事業開始	
7月29日	橿原市子ども読書活動推進計画 第1 回推進会議	推進計画策定を踏まえて、今後の具体的取組についての 推進体制の確認。 福祉総務課、子育て支援室、健康増進課、教育総務課、 学校教育課、社会教育課、図書館、橿原文庫連絡会、橿 原おはなしの会
12月 1日	橿原市PTA新聞特集記事「あなたの知 っている本の世界は？」	橿原市PTA連合会 橿原市学校図書館教育研究会 子ども読書活動推進計画関連記事と読書紹介 市内幼小中全世帯全戸配布
平成21年 3月17日	橿原市子ども読書活動推進会議(通算 2回目)	具体的取組についての連携体制の確認
4月23日	子どもの読書活動の実践により、文部 科学大臣表彰	ブックスタート事業、図書館ボランティア、学校教育や地域 活動において、諸団体の連携に対する評価
8月21日	橿原市子ども読書活動推進会議打ち合 わせ会	橿原文庫連絡会 橿原おはなしの会 社会教育課 学校 教育課 図書館 による実務担当者部会の設置を協議
8月24日	学校図書館システム研修会	橿原市学校図書館研究会
8月28日	橿原市子ども読書活動推進会議の部会 の設置	橿原市子ども読書活動推進会議設置規定に基づき、「地 域部会」「家庭部会」「学校部会」「図書館部会」の4部会の 設置

9月30日	読書活動推進アンケートの実施	市立小学校、市立中学校、市立幼稚園
平成22年 1月14日	ストーリーテリング実演会	檀原高市国語教育研究会、檀原おはなしの会
1月30日	ブックスタートボランティアアンケートの実施	ブックスタート関係者
2月9日	檀原市子ども読書活動推進会議「家庭部会」	子育て支援室、健康増進課、檀原文庫連絡会、図書館
3月4日	著作権についての勉強会	檀原市学校図書館研究会、図書館
4月24日	子ども読書の日「親子で楽しむおはなし会」	檀原文庫連絡会、檀原おはなしの会、図書館
7月21日	22年度第1回檀原市子ども読書活動推進会議(通算3回目)	福祉総務課、子育て支援室、健康増進課、教育総務課、学校教育課、社会教育課、図書館、檀原文庫連絡会、檀原おはなしの会
8月25日	子ども読書活動推進会議「家庭部会」「図書館部会」	福祉総務課、子育て支援室、健康増進課、教育総務課、学校教育課、社会教育課、図書館、檀原文庫連絡会、檀原おはなしの会
9月17日	全国図書館大会奈良大会 第4分科会「児童・青少年サービス」	県立図書館情報館、香芝市、生駒市、天理市、斑鳩町の各公立図書館とともに委員派遣
9月下旬～12月上旬	秋の読書週間「図書館フェスティバル」	特別貸出や関係団体による読書活動推進の催しなど 檀原文庫連絡会 檀原おはなしの会 檀原市図書館ボランティアの会 図書館の4者連携で実施
11月17日	子ども読書活動推進会議「地域部会」	中央公民館、社会教育課、檀原文庫連絡会、檀原おはなしの会、図書館
12月16日	子ども読書活動推進会議「家庭部会」「図書館部会」	福祉総務課、子育て支援室、健康増進課、図書館、檀原文庫連絡会、檀原おはなしの会
平成23年 1月24日	子ども読書活動推進会議「学校部会」	教育総務課、学校教育課、檀原市学校図書館研究会、檀原文庫連絡会、檀原おはなしの会
3月 3日	22年度第2回檀原市子ども読書活動推進会議(通算4回目)	策定3年目を迎え、中間年としての点検とまとめ ★ 参照資料 檀原市立図書館だより「檀の樹」第22号
9月14日	檀原市図書館ボランティアの会講習会	講師 川西町立図書館元館長 益田忠夫氏
平成24年 1月20日	子ども読書活動推進会議「家庭部会」「図書館部会」	福祉総務課 子育て支援課 健康増進課 図書館 檀原文庫連絡会 檀原おはなしの会
1月24日	檀原市図書館ボランティアの会総会	ブックスタートボランティアと同会が合流。檀原市図書館ボランティアの会ブックスタート班が発足。併せて檀原市子ども読書活動推進会議ワーキング部会にも参加。
2月17日	子ども読書活動推進会議「地域部会」「学校部会」	既存部署＋既存団体＋図書館ボランティアの会

橿原市立図書館

〒634-0075
橿原市小房町11-5

TEL:
0744-29-2121

FAX:
0744-21-1011

http:
[//www.ksh-lib.jp/](http://www.ksh-lib.jp/)

編集後記

ある雑誌編集者

春、昆虫館でアーサー・ビナードさんの講演会があった。1967年に米国ミネソタ州で生まれたビナードさんは、90年に来日して以来、日本語による詩人、絵本作家、翻訳家としての活動で著名な方である。▼ビナード少年は、しばしば父と川通いをした。父が息子に教えたのは、フライフィッシングだった。季節になると、川面では様々なフライ(羽虫)が躍り出る。それに似せた手づくりの疑似毛バリで、鱒などを狙う釣りである。魚や虫たちの生態を観察するために、時には素潜りまでしたらしい。▼父親からフライフィッシングを仕込まれたという経験は、欧米ではめずらしいものではない。だが、ビナードさんと同世代の日本人の中で、同様の経験を持つとは皆無に等しいのではない。ビナードさんの話を参加者から伝え聞きながら、ある編集者の記憶がよぎった。▼中沢孝さんは、87年に創刊された「フライの雑誌」の編集発行人だった。それまで日本では十分な情報源のなかったこの分野の、パイオニアともいえる雑誌だった。小出版社ながら、品の良いレイアウト、美しい掲載写真と端正な本文で、限られた読者に知られていた。▼フィールドを、小さな生命たちとの共生の場として捉えようとする愛情が、紙面づくりにあらわれていた……。バックページのクレジットから中沢さんの名が消えて、10年が過ぎた。

記憶は ひんやりとした流れの中に立って
糸を静かに投げ入れ 釣り上げては
流れの中へまた 放すがいい

A. ビナード「釣り上げては」

お知らせ

雑誌スポンサーの募集



図書館の雑誌に
広告を出しませんか

橿原市立図書館では、雑誌コーナーの充実を図るために「雑誌スポンサー制度」を設けました。

企業やお店、団体様(個人は除く)に雑誌を購入していただき、提供雑誌(最新号)のカバーなど3ヶ所にスポンサー名と広告を掲載します。

購入雑誌は、図書館が作成した候補リストの中から選んでいただきます(希望が重複した場合は先着者を優先します)。

期間は1年単位(年額先払い)で、継続も可能です。

詳しくは、ホームページを御覧いただくか、図書館にお問い合わせください。



広告例
雑誌配置場所「広告」



広告例 カバー表「スポンサー名」(左)と、カバー裏「広告」(右)

広告サイズと内容

- ① カバー表面「スポンサー名」 たて4センチ×よこ13センチ、地色白文字黒。
- ② カバー裏面「広告」 A4たて判以下の大きさで片面印刷。
- ③ 雑誌配置場所「広告」 A5横判以下の大きさで片面印刷。ラミネート加工を施したもの。雑誌の閲覧中は露出し、配置中は隠れます。

表紙の写真

昨年の「親子手作り絵本教室」に参加の娘さんとお父さん。今年の募集は「広報かしはら」7月号に掲載しています。